

I 調査の目的と概要

1 調査の目的

栃木県では、平成 23 年 3 月に平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 カ年間に計画期間対象とした中期計画である「栃木県生涯学習推進四期計画『新・とちぎ学びかがやきプラン』」を策定し、「生涯学習によるとちぎ県民の『絆』づくりを目指します」を基本目標に据えて生涯学習関連施策を展開しています。

計画では、豊かで活力ある地域社会を形成するためには、生涯学習の振興をとおり、学習を仲立ちとして生まれるふれあいや交流により、県民同士の「絆」を培うことが必要としています。また、「絆」を培うためには、地域住民一人一人が地域の課題について学ぶことをきっかけにして、地域における諸活動に主体的に参加することを目指した「地域づくり」の視点での学びの場の充実が不可欠と考えられます。

そこで、本県では、市町と県、高等教育機関、生涯学習施設等の関係者によるプロジェクトチームを立ち上げ、今後さらに「地域づくり」に関する学びの場の充実を図る上での基礎資料とするため、各地区における地域課題やその解決に向けた活動の実態、地域課題に関する学習の現状等について調査・分析を行いました。

2 調査の概要

(1) 調査対象（母集団と標本サイズ）

① 県民対象調査

栃木県内に居住する県民 2400 名（平成 24 年 6 月 30 日現在）

② 職員対象調査

栃木県内各市町の生涯学習・社会教育関係職員 236 名（平成 24 年 6 月 30 日現在）

(2) 実施時期

平成 24 年 7～8 月

(3) 調査方法

アンケートによる自記式回答

(4) 調査内容

巻末資料の調査用紙のとおり